

2404ErrorAgain.pdf

2024.4 ブログ：再び、マイナカードで別人の住民票の誤発行、の詳細
(→ <http://www.1968start.com/M/blog/index3.html#2404b>)

再び、マイナカードで別人の住民票の誤発行

中所武司

■このブログのきっかけ

1年前に話題になった、マイナカードでの住民票交付申請での別人の住民票の誤発行が、今年の4/4に高松市で再び発生した。

・高松市の報道発表資料2件

「コンビニ交付システム」における証明書の誤交付について

*報道発表資料：「コンビニ交付システム」における証明書の誤交付について

*補足資料：発生した事象の流れ

<https://www.city.takamatsu.kagawa.jp/kurashi/kurashi/shomei/news/shimin20240.html>

・1年前の関連ブログ2件

*2023.4 「マイナカードで別人の住民票誤発行の原因」

<http://www.1968start.com/M/blog/index3.html#2304>

*2023.7 「コンビニ交付サービスのソフトウェア工学的問題点」

<http://www.1968start.com/M/blog/index3.html#2307c>

■報道発表資料の要約とコメント (→★)

1. システムの概要：

コンビニ交付システムは、マイナンバーカードを利用して、住民票の写しや印鑑登録証明書等を全国のコンビニの端末で取得できるサービス。

2. 事案の経過

*4/4：証明書交付センターから、本市のコンビニ交付システムでエラー発生の連絡があり、運用・保守の委託業者に、エラー原因の詳細な調査を依頼。

*4/10：委託業者から、本システムが一定の条件下で誤交付となる状態で、4/4の障害発生となった可能性、及び対象者（A氏、B氏）等に関する報告あり。

→★今回の誤交付では、A氏がB氏の証明書を入手した。

*4/11：対象者A氏に事実確認と謝罪。

*4/12：対象者B氏に状況説明と謝罪。

3. 原因と事象

開発業者が、本システムの構成に応じた複数サーバ向けのプログラムを適用せず、作業ミスにより、単一サーバ向けのプログラムを適用していたことが原因。

→★信じがたい「作業ミス」であるが、詳細は後述。

4. 他の誤交付案件

開発業者によるシステムログの調査で、他に誤交付がないことを確認済み。

5. 再発防止策等

開発業者からは、昨年のお自治体での誤交付事案を受け、本市と同一構成で稼働する他自治体のシステムの再点検を実施した結果、問題なかったとの報告を受けていたが、実際は、適用すべきプログラムを誤り、誤交付の可能性のある状態だった。同社に対し、再発防止の徹底を強く要請。

→★「昨年のお自治体の誤交付事案」については、冒頭で引用したブログ参照のこと。
この再点検では、本来適用すべきだったプログラムに問題なしとの報告。
この時、適用すべきプログラムの誤りの有無については点検対象外だったようだ。
その理由は、この誤りが通常ありえないような想定外の誤りだったということかな。

【冒頭の2番目の資料の説明図の要約とコメント】

発生した事象の流れ

【正常動作時(複数サーバ構成用プログラム環境)】

→★これは、本来、適用されるべきだったプログラムの処理の流れ

- Aさんが交付申請すると、複数サーバ構成用のデータアクセス管理を經由して、証明書イメージ作成処理を実行し、Aさん証明書イメージが作成され、Aさんがコンビニで証明書受取にて終了。
- Aさんの交付申請の処理中に、Bさんが交付申請すると、複数サーバ構成用のデータアクセス管理のところ、Bさん証明書イメージは作成待ちとなる。

【異常動作時(単一サーバ構成用プログラム環境)】

→★これは、誤って適用されたプログラムの処理の流れ

- Aさんの交付申請の処理中に、Bさんが交付申請すると、単一サーバ構成用のデータアクセス管理のところ、Bさん証明書イメージは作成待ちとなるが、

- ① 住民記録システムとのデータ連携処理と2件以上の証明書イメージ作成処理が同時に実行された際に、Bさんの証明書イメージ作成処理待ちを解除する。

その結果、

- ② Aさんの証明書イメージ作成処理が完了したと判断し、
Bさんの証明書イメージ作成処理実行し、Aさんの証明書イメージを上書きする。

その結果、

- ③ Aさんは、②の処理で作成された証明書イメージ(Bさん証明書)を取得する。

※本資料の脚注

証明書データ更新中にデータ更新中の世帯の印刷がされないようにするためにデータアクセス管理が行われている。

→★疑問点：

*「証明書データ更新中にデータ更新中の世帯の印刷がされないようにする」処理は証明書イメージ作成処理の前に、データ更新中の有無をチェックするだけなので、**特段難しい処理ではない**。上記①の説明を理解できない。

*今回のように、2件以上の証明書イメージ作成処理を同時に実行する場合、証明書イメージの保存エリア（バッファ）を複数分用意しておけば、証明書イメージ作成処理において、空きエリアを調べて書き出せばよい。**空きエリアがない場合は、空きエリアが生じるまで待てばよいだけなので、処理手順は難しくはない。**

以上